

CASSIOPEIA—UHC達成に向けて、対象の5つの病院における、5つ星に輝く質の高い医療ケアサービスを目指して

## JICA ルサカ郡総合病院運営管理能力強化プロジェクト



カシオペアプロジェクトの法月チーフアドバイザーが、中央州リテタ郡病院のスタッフへプロジェクトの概要を説明している様子。（左から、ロシナンテの佐藤良氏、塩田専門家、法月チーフアドバイザー、ニャンガ専門家。）

中央州リテタ郡病院と  
マロンベ保健センター  
を視察

チパタ1次レベル病院で、  
病院運営能力強化  
トレーニング実施

フォト・フォーカス  
全国品質向上カンファ  
レンスの様子



## 中央州リテタ郡病院とマロンベ保健センターを視察訪問



中央州リテタ郡病院の運営スタッフとカシオペアプロジェクトチーム。

**カ**シオペアプロジェクトチームは10月2日、認定NPO法人ロシナンテスのチームとともに、ザンビアの中央州にあるリテタ郡病院とマロンベ保健センターを視察しました。この視察は、病院の管理チームと対話し、プロジェクトと視察先の取り組みや情報を共有することでプロジェクトで実施中の活動に役立てることを目的としています。施設内の部門運営やプロセス、患者を他の病院に紹介するシステムなどについても情報が交換されました。また、施設が直面する課題についても議論され、宿泊施設の不足や患者の緊急度の評価、緊急部門での問題などが話し合われました。

プロジェクトチームは、病院のさまざまな部門（手術室、薬局、外来診療、産科、集中治療室、男性・女性病棟）を視察しました。各部門を視察中、プロジェクトチームは各部門に関する情報を交換し、患者へのサービス向上について意見交換しました。例えば薬剤の在庫管理では、病院で定期的な会議を行い、行動計画や感染予防の改善策、廃棄物管理などの方法を議論することなどが共有されました。

病院は、医薬品や消耗品、医療機器の管理に関するさまざまな課題に直面していると説明がありました。具体的には、設備の不足、メンテナンスの問題、施設内の人材不足、緊急外来への対応、そして施設のスペース不足などが挙げられます。

JICAはルサカ州の総合病院の管理能力強化プロジェクトを通じて、これらの課題を減らすための取り組みを支援しています。具体的には、モニタリングに基づく問題改善能力の強化、感染対策の強化、医薬品や消耗品の在庫管理、設備のメンテナンスなどを行い、チレンジェ、チパタ、チャワマ、カニヤマ、マテロの5つの一次レベル病院とルサカ州保健局 (LPHO)、ルサカ郡保健局 (LDHO)、保健省 (MOH) との連携を強化しています。



マロンベ地方保健センタースタッフとカシオペアチーム。



カシオペアプロジェクトとリテタ地区病院の管理チームとの意見交換の様子。



カシオペアプロジェクトがリテタ地区病院でトリアージについての知見を紹介。



プロジェクトチームがリテタ地区病院の外科病棟を視察。



プロジェクト広報担当のエレン職員からのお別れメッセージ

カシオペアチームの一員として働き、その素晴らしい活動に参加できたことに心から感謝しています。5つの一次レベル病院で行われている偉大な取り組みに関わったことは素晴らしい経験でした。プロジェクトが、5つの対象病院で質の高い医療サービスをこれからも提供し続けていくことを心から願っています。ありがとうございました。



## チパタ1次レベル病院で、病院運営能力強化トレーニング実施

運営能力強化プログラムは、活動の実施において目標を達成するために、タスクの優先順位を正しく設定する能力を強化するために提供されました。このプログラムは5日間にわたり開催され、日本の病院運営モデルをザンビアの病院運営に導入するための知識を得ることを目標としました。

プログラムには、薬剤調達プロセスについてのプレゼンテーションや議論、カイゼンの紹介、5Sコンセプト(整理、整頓、清掃、清潔、躰)による作業空間と作業フローの整理と管理方法についての議論が含まれていました。これは、効率性と組織化の向上と、生産的な作業環境の確保

を目的としたものです。他には、持続的な品質改善の取り組み、研修で訪問した真生会富山病院の哲学から得られた教訓(『自利利他』という概念を通じた患者への対応)、患者中心のケア、品質管理の原則などが含まれていました。

トレーニング中、ニャンガ専門家(感染管理)が、チパタ1次レベル病院で進行中の感染予防活動の最新状況について簡単な活動報告をしました。具体的には、廃棄物管理用のエリア分けやラベリング、視覚的なサインの設置などが行われていることが報告されました。また、病院が感染予防委員会を設立したことを称賛し、各部署が進行中の

活動に積極的に参加し、誰も取り残されることなく病院全体が前進することを期待すると述べました。

薬剤管理/医療機器管理担当の塩田専門家が、チパタ1次レベル病院の医療機器に関する週次報告システムを受講者に説明しました。このシステムは大変良好な状態で運用されています。彼は病院管理部門に対し、医療機器の週次報告を継続して提出するよう促しました。これは、故障している機器に関して上層管理が把握し、対処するために重要です。また、薬局部門には、薬品トレーサーリストを定期的に更新し、薬品の在庫状況を確保するよう助言しました。



ニャンガ専門家が、チパタ病院の能力強化トレーニングでIPC(感染予防管理)に関するプレゼンテーションを行う様子。



塩田専門家が、医療機器の報告方法と薬品の在庫管理について説明する様子。

フォトフォーカス: 法月チーフアドバイザーが、ルサカのムルンガシ国際会議センターで開催された第8回全国品質向上カンファレンスでプロジェクトに関するプレゼンテーションを行う様子。



編集・デザイン: エレン ムティナ チピリピリ  
編集: 緒方 敬  
編集長: 法月 正太郎

連絡先

法月正太郎 ルサカ郡病院運営管理能力強化プロジェクト チーフアドバイザー

住所: Plot No.11743A, Brenwood Lane,  
Longacres. P.o. Box 30027, Lusaka,  
10101, ZAMBIA

Cell: +260 765 192 865 (official)